※令和４年度以降入学生用

学校番号	328

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　精選　古典探究」（第一学習社）						
副教材等	「新精選古典文法　三訂版」（東京書籍出版） 「新精選古典文法　演習ノート　改訂版」（東京書籍出版） 「テーマ別　古文ウィニングクリア 3」（尚文出版） 「見て覚える　読んで解ける　古文単語 330　新訂版」（文英堂） 「プレミアムカラー　国語便覧　改訂版」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代や歴史的背景を持つ古典作品に触れ、古文や漢文の世界に親しみましょう。
・古典作品を読解するために必要な語彙力や文法の知識を身につけ、古典特有の表現も理解しましょう。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して古典作品への理解をより深めましょう。
・昨年度に続き、予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない単語を調べることは予習の基本です。復習は授業を思い起こして本文を読み直し、他者に教えるつもりで説明できるようになりましょう。
・提出物は期限厳守。定期考査は学習計画を立てて勉強してください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方・感じ方・考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとととともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	古典作品の読解を通して、深く共感したり豊かに想像したりする力を深めようとしている。また、作品に表れる考え方を踏まえて、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていたときの日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 ［教材］ 『紫式部日記』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 c：内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
	桐壺の更衣と弘徽殿の女御との軋轢を、後宮と政治とのつながりに留意し、更衣の最期や、光源氏の政治的立場を調査し、その成果をまとめる。 ［教材］ 「言語活動 『源氏物語』と政治」	a：読書の意義と効用について理解を深める。 b[読]：古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：集めた資料の内容を解釈し、わかったことを積極的にまとめようとしている。	ワークシート ノート	ワークシート レポート 定期考査	レポート ポートフォリオ
	和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『新古今和歌集』	a：和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 b[読]：わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、成熟期の和歌を鑑賞する。 c：着想や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ［教材］ 「推敲」 「呉越同舟」 「嬰逆鱗」 「知音」	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 c：故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	リフレクションシート ポートフォリオ
2学期	歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『大和物語』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：和歌のよまれた事情を語る、散文性や叙事性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 c：学習の見通しをもって歌物語を読み、和歌のよまれた事情が記述された歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	リフレクションシート ポートフォリオ
	女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ［教材］ 『蜻蛉日記』	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b[読]：作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 c：日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
	『蜻蛉日記』に記される作者の悩みや不満が、当時の結婚形態とどのように関係するかにつ	a：読書の意義と効用について理解を深める。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	いて調査し、その成果をまとめたり発表したりすることにより、内容の解釈を深める。 ［教材］ 「言語活動　平安朝の結婚」	b[読]:古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c:集めた資料の内容を解釈し、『蜻蛉日記』から読み取ったことをもとに自分の考えを深め、それを積極的にまとめようとしている。			
	王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、短編として書かれた作品を読んで、古典への興味を広げる。 ［教材］ 『堤中納言物語』	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
	登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ［教材］ 「鴻門之会」	a:訓読のきまりについて理解を深める。 b[読]:史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 c:各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
3学期	王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、短編として書かれた作品を読んで、古典への興味を広げる。 ［教材］ 『堤中納言物語』	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ
	軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ［教材］ 『平家物語』	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b[読]:軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混淆文の特色について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート ポートフォリオ

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

~~・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間~~

~~・書くこと　…　（　　）時間~~

・読むこと　…　（　７０　）時間